

## 高校教育改革に関する調査2018

### 「アクティブラーニング型授業」編

# 9割以上の高校が『アクティブラーニング型授業』を導入 「学校全体で導入している」高校が、2014年の3倍以上に増加 約半数の高校が「生徒の学びに向かう姿勢・意欲が向上した」と回答

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する、リクルート進学総研（所長：小林 浩）は、高校の教育改革に関する現状を明らかにするため、全国の全日制高校に対して、高大接続改革、新しい学習指導要領、キャリア教育、進路指導、学校改革に関する取り組みに対しての調査を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。本調査によるリリースは「アクティブラーニング型授業」編、「高大接続改革」編、「専門職大学」編の計3つあり、本リリースは「アクティブラーニング型授業」編です。

※本調査は、『キャリアガイダンス』編集部とリクルート進学総研が隔年で実施している調査で今回で第20回目。これまでは「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」の名称で、高校現場の実態を把握する調査として実施。第20回目の今回は「高校教育改革」の視点から高校現場の実態を把握することを目的としました。

## 「アクティブラーニング型授業」の 導入状況

### ■ 90.4%の高校が「アクティブラーニング型授業」を導入

- ・ 2014年47.1%→2016年92.9%→2018年90.4%
- ・ 2016年以降の導入率は9割以上をキープ

### ■ 「学校全体で導入している高校」が、2014年の3倍以上に増加

- ・ 2014年8.7%→2018年29.3%

### ■ 「教員個人単位での取り組み」は、前回より10.4ポイント減少

- ・ 2016年51.1%→2018年40.7%

## 「アクティブラーニング型授業」の 取り組みによる変化

### ■ 変化のトップは「学びに向かう姿勢・意欲が向上した（49.1%）」

- 1位：学びに向かう姿勢・意欲が向上した（49.1%）
- 2位：教員の授業観が変わった（41.5%）
- 3位：主体性・多様性・協働性が向上した（37.9%）

## 「アクティブラーニング型授業」の 課題や改善点

### ■ 半数以上の教員が「教員の指導スキルの向上（58.6%）」と「教材開発や授業準備の時間確保（54.9%）」が課題と回答

- 1位：教員の指導スキルの向上（58.6%）
- 2位：教材開発や授業準備の時間確保（54.9%）
- 3位：評価手法の確立（46.6%）

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校教育改革に関する調査2018」リクルート進学総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

[https://www.recruit-mp.co.jp/support/press\\_inquiry/](https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/)

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>

## 【調査概要】

- 調査目的：全国の全日制高校で行われている教育改革（高大接続改革、新しい学習指導要綱、キャリア教育、進路指導、学校改革に関する取り組みなど）の実態を明らかにする
- 調査期間：2018年10月5日（金）～2018年10月27日（土）投函締切  
※10月31日（水）到着分までを集計対象とした
- 調査方法：郵送調査。校長宛に調査票を送付
- 調査対象：全国の全日制高校4703校
- 集計対象数：1203件（回収率25.6%）

## 【回答校プロフィール】

### ■設置者種別【時系列】（全体／単一回答）

(%)

	国公立	私立	無回答
2018年 全体 (n=1203)	72.6	25.9	1.5
2016年 全体 (n=1105)	71.0	28.0	1.1
2014年 全体 (n=1140)	73.3	25.9	0.8

### ■高校所在地【時系列】（全体／単一回答）

(%)

	北海道	東北	関東・甲信越	北関東	南関東	甲信越	東海・北陸	東海	北陸	関西	中国・四国	中国	四国	九州・沖縄	無回答
2018年 全体 (n=1203)	8.3	8.6	31.4	7.1	18.5	5.8	15.2	12.4	2.8	11.7	11.7	7.3	4.4	11.5	1.5
2016年 全体 (n=1105)	6.2	9.2	32.3	7.9	18.4	6.1	16.1	13.4	2.7	13.3	10.0	7.1	2.9	11.8	1.1
2014年 全体 (n=1140)	7.1	11.4	28.6	6.4	16.8	5.4	16.2	13.5	2.7	12.0	11.3	7.1	4.2	12.5	0.8

### ■高校学科(高校タイプ)【時系列】（全体／単一回答）

(%)

	普通科		総合学科		専門高校	その他	無回答	普通科	総合学科
	普通科単独校	普通科中心で学科併設校	総合学科単独校(移行中含む)	総合学科併設校					
2018年 全体 (n=1203)	56.8	20.9	5.5	1.1	13.7	*	2.0	77.7	6.6
2016年 全体 (n=1105)	56.6	20.2	6.2	1.2	11.5	3.4	0.9	76.7	7.4
2014年 全体 (n=1140)	54.6	20.1	5.2	1.1	11.8	5.4	1.8	74.7	6.3

※「その他」：2018年調査で選択肢を削除

### ■大学短大進学率【時系列】（全体／単一回答）

(%)

	70%以上	40～70%未満	40%未満	無回答
2018年 全体 (n=1203)	45.0	19.1	34.3	1.6
2016年 全体 (n=1105)	47.5	19.0	32.4	1.1
2014年 全体 (n=1140)	46.5	18.6	34.1	0.8

### ■校務分掌【時系列】（全体／複数回答）

(%)

	校長	副校長	教頭	教頭（副校長）	進路指導主事	進路指導部	教務主任	教務部	学年主任	学年担当	その他	無回答
2018年 全体 (n=1203)	5.9	2.6	13.0	*	59.4	10.6	9.6	1.1	1.2	2.5	2.1	2.0
2016年 全体 (n=1105)	0.1	*	*	0.1	85.0	13.1	*	*	2.4	9.4	1.4	1.4
2014年 全体 (n=1140)	—	*	*	0.5	85.0	12.5	*	*	1.9	7.0	2.3	1.8

※2016年までは進路指導主事に調査票を送付、2018年は学校長に調査票を送付

※「副校長」「教頭」：2014年・2016年調査の選択肢は「教頭(副校長)」